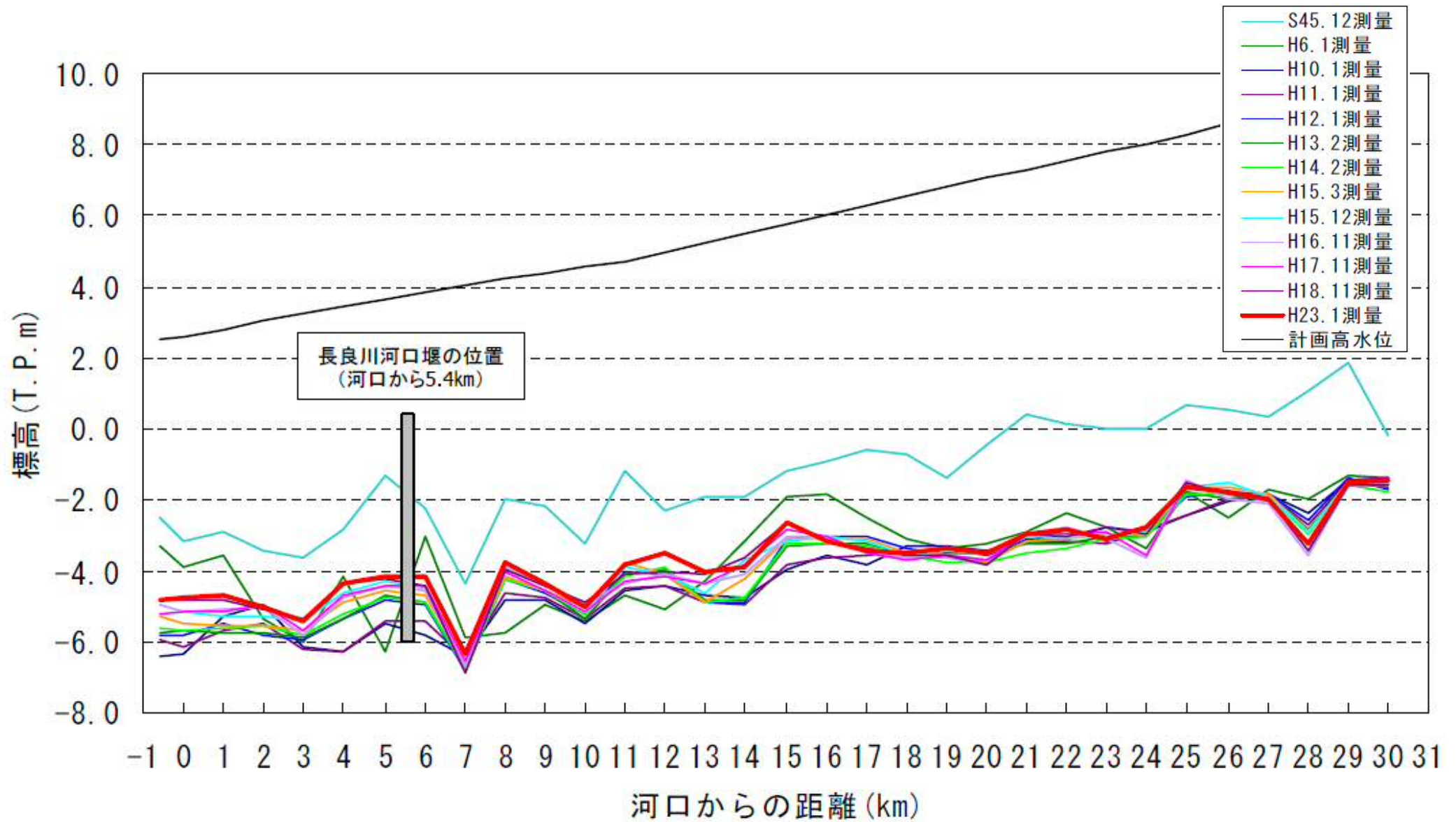
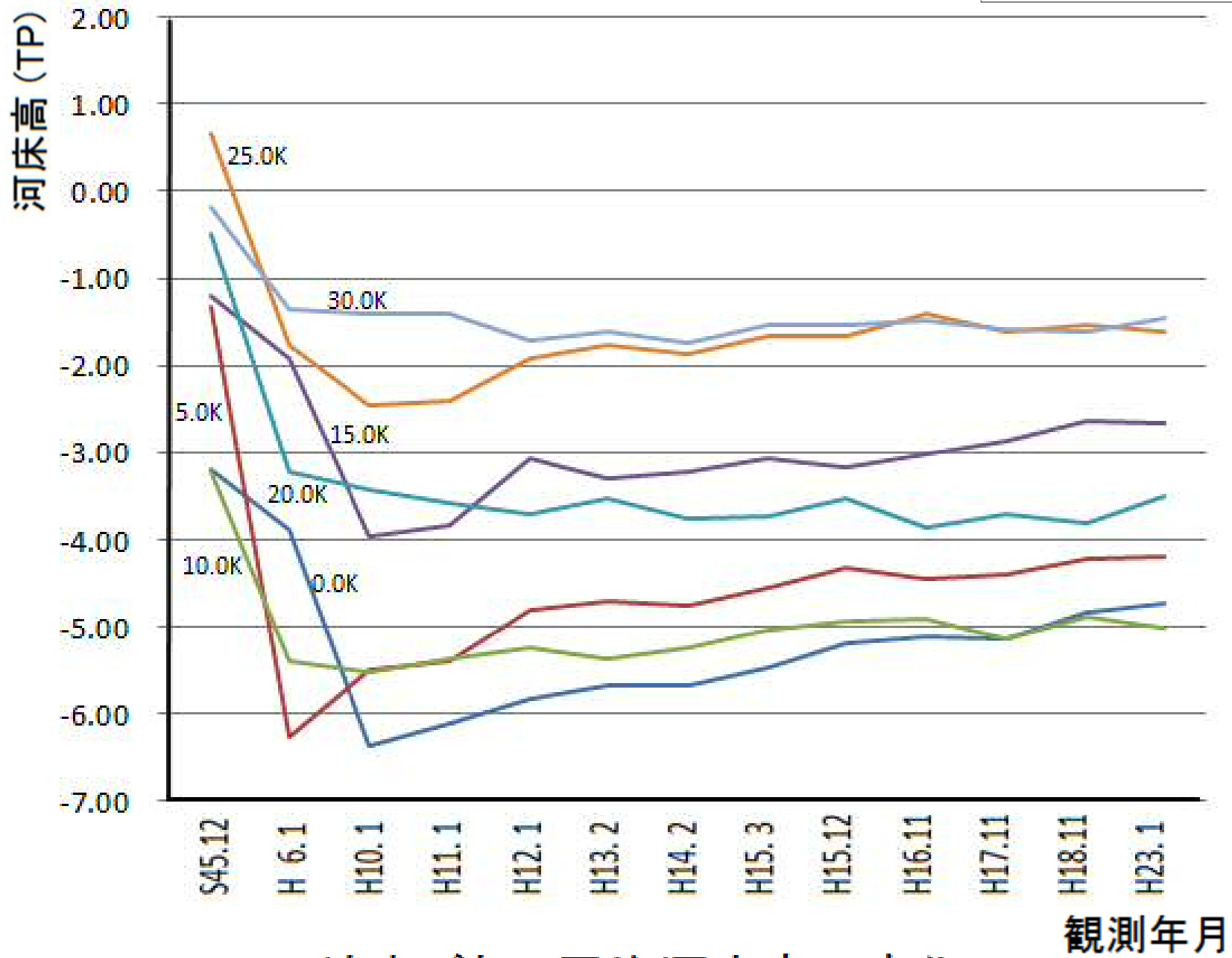


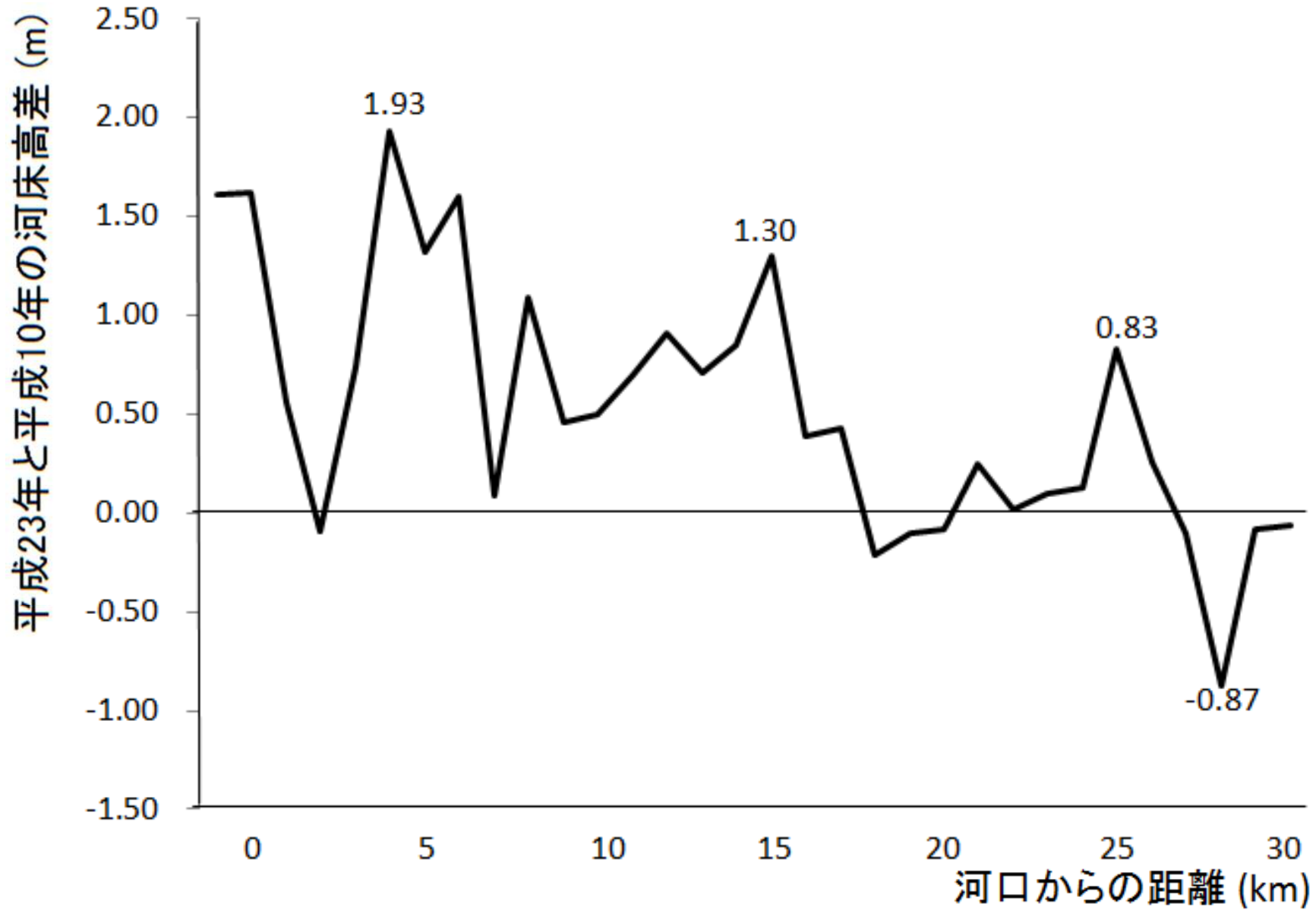
長良川平均河床高(部分拡大)



しゅんせつ後の河床変動  
(しゅんせつ範囲の長良川平均河床縦断図(経年変化))

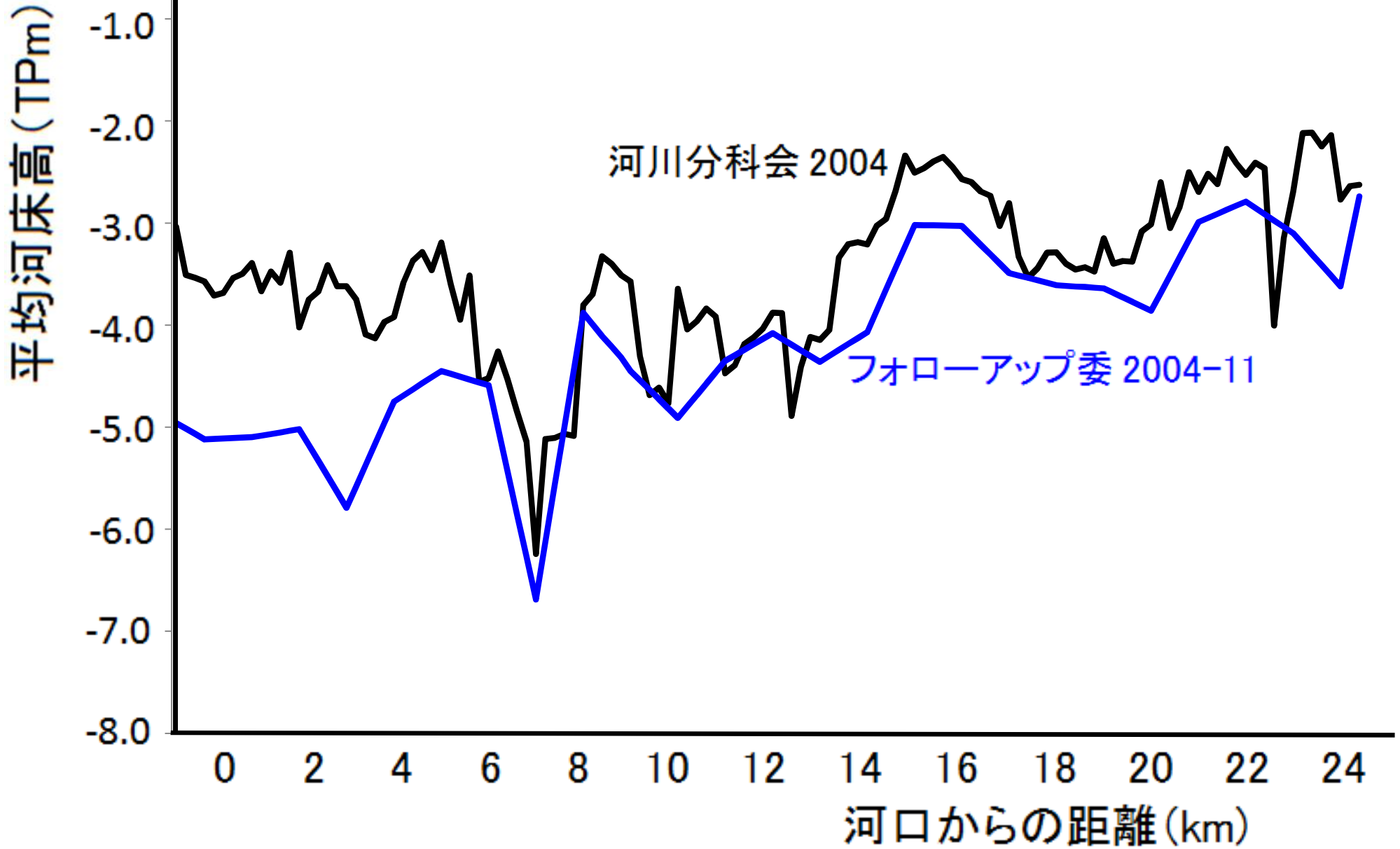


地点ごとの平均河床高の変化



## 浚渫後の河床高の変化

# 河床高観測値の比較

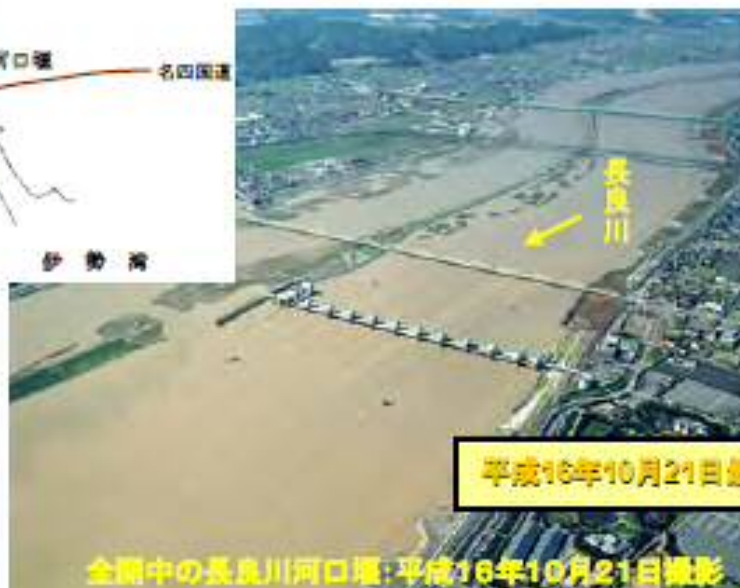


# 洪水調節の実績

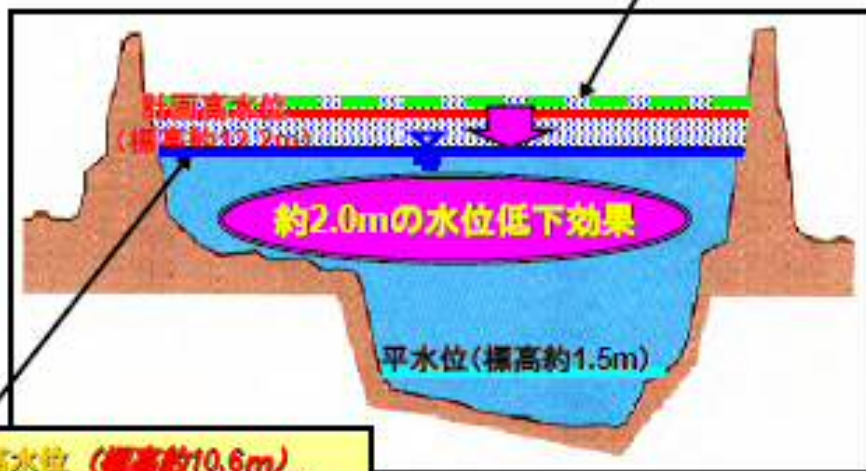
## 主な洪水における水位低下効果の実績

年月日	出水要因	墨俣地点最大流量	ピーク水位低下量
平成10年10月18日	台風10号	約4,500m <sup>3</sup> /s	約1.3m
平成11年9月15日	台風18号	約5,900m <sup>3</sup> /s	約1.1m
平成12年9月12日	台風14号	約4,900m <sup>3</sup> /s	約1.2m
平成14年7月10日	台風6号	約4,400m <sup>3</sup> /s	約1.6m
平成16年10月21日	台風23号	約8,000m <sup>3</sup> /s	約2.0m

注)平成10年、11年、12年、14年出水のピーク水位の低下量は、河道しゅんせつ前の同程度出水(昭和47年7月:最大流量4,800m<sup>3</sup>/s)における流量と水位の関係式を用いて、それぞれの最大流量時における水位を求め、実際のピーク水位と比較したもの。平成16年出水は規模が大きいため、水理計算により最大流量時の水位を推定し、実際の水位と比較したもの。



昭和45年当時の断面における推定の最高水位 (標高約12.6m)



平成16年10月21日最高水位 (標高約10.6m)

# GPS魚群探知機による 長良川下流部河床形状の観測

観測日時:平成25年10月21日

9時~15時

ほかに予備観測、追加観測あり

観測協力者

リバー・リバイバル研究所

リバー・ポリシー・ネットワーク



RPN撮影



今本撮影

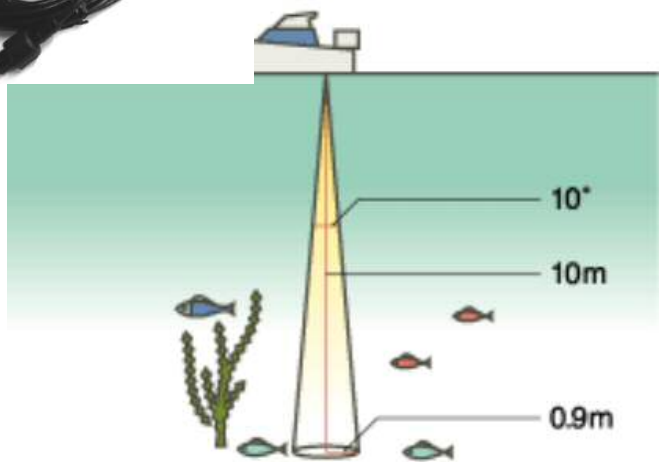


今本撮影

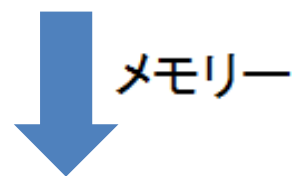


①超音波振動子(200kHz)

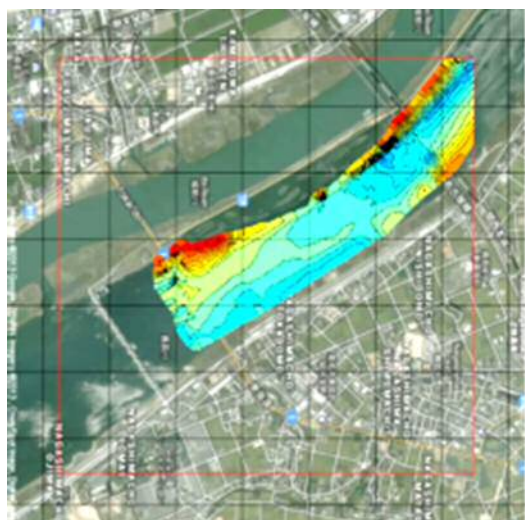
②GPSプロッター-魚群探知機



河床形状  
観測の流れ



③パソコン



④河床等高線







モニタ一画像 藤井委員撮影(2013-10-21)

5.4-10.0km

